

図書館だより

《問い合わせ》 上野図書館
☎ 21-6868 FAX 21-8999



司書のおすすめ

■一般書

『「本」とともに地域で生きる』

南陀楼綾繁／著 大正大学出版会 2024年11月
本を愛する著者が、日本全国の書店などのさまざまな取り組みや、注目すべきローカルメディアを自らの足で訪ね、紹介する一冊です。



■児童書

『水の一生図鑑 ぐるぐるめぐる水のサイクルを知って地球環境を学ぶ』
林 良博／監修、片神 貴子／訳、子供の科学編集部／編
誠文堂新光社

■絵本

『おばけずし』
荻田 澄子／作、柴田 ケイコ／絵 金の星社

■いがし電子図書館

『居酒屋蔦重』

車 浮代／著 オレンジページ
今年の大河ドラマの主人公・蔦屋重三郎について紹介する本です。江戸時代のことや江戸レシピなども掲載！「もしも蔦屋重三郎があの人と居酒屋で呑んでいたら？」という遊び心から生まれた短編小説とともにお楽しみください。



いがし電子図書館



図書館（室）からのお知らせ

◆宝くじ助成事業で移動図書館を整備しました

（一財）自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじ受託事業収入を財源に、共生の地域づくりをするコミュニティ助成事業を実施しています。

この宝くじの助成金を活用して、図書館の新しいサービスとして約1,000冊の本を載せる移動図書館を整備しました。4月から運行を開始する移動図書館「にんにんブッカー」をぜひご利用ください。

詳細は、今後図書館ホームページなどでお知らせします。



3月の読み聞かせ

絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします。
（30分～1時間程度）

とき	ところ	催物（読み手）
8日(土) 10:30～	大山田図書館	おはなしたいむ（きらきら）
	上野図書館	おはなしの会
18日(火) 10:30～	大山田図書館	あかちゃんたいむ・ミニおはなし会
19日(水) 10:30～	上野図書館	えほんの森（よもよも）
22日(土) 10:30～	上野図書館	えほんの泉（kiko きこ）
26日(火) 10:30～	上野図書館	おひざでだっこのおはなし会

伊賀市上野図書館
公式LINEアカウント
「友だち」募集中

友だち追加二次元コード▶



市営住宅保証人制度を廃止します



令和7年4月より、市営住宅の新規入居や名義変更の際に必要な「連帯保証人」が不要となります。（現在の契約のまま継続する場合は、連帯保証人は継続して有効となります。）

今後は、「連帯保証人」に代わり「緊急連絡先」となる人を2人届け出いただくこととなります。（ただし、三重県内に在住・在勤で3親等以内の親族を指定する場合には1人。居住支援を行う法人等を指定する場合には1人）緊急連絡先の役割など詳しくは市ホームページをご確認いただくか、お問い合わせください。

【問い合わせ】 住宅課

☎ 22-9737 FAX 22-9736

伊賀警察署だより



SNS 利用による犯罪被害から

子どもを守るために
春休みから新学期にかけての時期は、進級・進学による生活環境の変化に伴い、子どもたちが犯罪被害に巻き込まれる危険性が高くなります。

子どもたちが SNS などでも知り合った人に、言葉巧みに誘導され、自分の裸の画像を送信させられたり、わいせつな行為をされた上で「画像をインターネットに流す」と脅される被害が発生しています。

保護者の人は、子どもの携帯電話にはフィルタリングを設定し、次のようなことを話し合い、ルールを決めましょう。

- 個人が特定される情報を書き込まない
- 知らない人と電話やメールなどの交換をしない
- 下着姿や裸の写真は撮らない、撮らさない

子どもを SNS など起因する犯罪被害から守るために、さまざまなトラブルに巻き込まれないよう、この機会に子どもとしっかり向き合しましょう。

【問い合わせ】

○伊賀警察署 ☎ 21-0110
○名張警察署 ☎ 62-0110

土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧



【とき】 4月1日(火)～30日(水)
午前8時30分～午後5時15分
※土・日曜日、祝日を除く。
※縦覧期間中は通常の土地登記所有者簿の閲覧を休止します。

【ところ】

本庁舎 2階課税課（7番窓口）

【対象者】

市内に土地または家屋を所有している固定資産税の納税者

【縦覧内容】

- 土地：所在地番・地目・地積・評価額
- 家屋：所在地番・家屋番号・構造・種類・床面積・建築年次・評価額

【閲覧に必要なもの】

運転免許証、マイナンバーカードなど本人確認ができるもの
※代理人は所有者の委任状が必要

【問い合わせ】 課税課

☎ 22-9614 FAX 22-9618

「広報いが」広告募集中

【掲載料】

1枠（縦5cm×横9cm）：2万円

【申込期限】

発行日 2カ月前

【問い合わせ】

秘書広報課
☎ 22-9636
FAX 24-7900



伊賀市でくらす外国人のための生活ガイドブック

市役所での手続きや生活情報が書いてあります。



【問い合わせ】

多文化共生課
☎ 22-9702



「水道水質検査計画」を策定しました



水質検査を適正に行うために、検査項目・頻度などを定めた令和7年度水質検査計画を策定しました。

この計画は市ホームページに掲載しているほか、ゆめが丘浄水場で閲覧できます。

【問い合わせ】 水道施設課

☎ 24-3980 FAX 24-0006

20ページの答え！

①式部塚（しきみづか）

伝説は今むかし、南都（南朝の都が吉野にあった）の頃、当代の百地丹波守は、北面の武士として、吉野朝に出仕し、宮廷の守護に当たっていましたが、たまたま式部の官にある官女と恋愛関係におち入り、深く将来を約束しました。任満ちて丹波は伊賀へ帰りましたが、式部も期をうかがって宮仕えを辞し、丹波のもとへ来ることになっていました。式部が約束どおり吉野を出発したという知らせに、丹波は日を計って島ヶ原に迎えに行きましたが、式部は他の道から来たので行き違いになり、式部は丹波の留守中に、愛犬を伴って丹波の砦に到着しました。美しい官女の来訪に、かねて式部のことを知っていた丹波の妻は嫉妬に狂い、家来とかがたつて式部を殺し、邸内の古井戸に投げ込みました。丹波は帰宅後、式部の愛犬の白犬が邸内にいることを認めて不審に思いましたが、白犬の案内で、式部が井戸に落ちて死んでいるのを発見しました。そして、女房も同じ井戸に身を投げて死にました。丹波は、この井戸を埋め、塚としてその塚の上に密（しきみ）を植えて、自身は高野山に登り僧となって、二人の菩提をとむらいました。それで、この塚を式部塚とも塚塚とも呼ぶようになりました。

※設問と回答は「伊賀学検定370問ドリル」（上野商工会議所発行・伊賀学検定実施委員会編集）から抜粋